



新任のご挨拶

医師 堤 美紗子



皆様、初めまして。6 月末より金曜午前の外来を担当しています堤美紗子と申します。医師 4 年目で、家庭医療や在宅医療を主にしています。出身は滋賀県守山市で、大学は自治医科大学出身です。

さて、私が主に行っている在宅診療とはどんなものかご存知でしょうか。一般的な診療は患者さんが診療所や病院に出向いて受診しますが、在宅診療では医師や看護師が患者さんの家を訪問し診療を行います。特に体の自由が利かなくなり、受診するのが非常に困難な方などに行っています。訪問して診療するので、診療所や病院で出来るレントゲン検査や詳しいエコー検査などは出来ません。点滴などの治療や処置も非常に限られた内容になります。それでも、訪問診療を希望される患者で医師が必要と判断した場合に行います。訪問診療することで、家でどのように過ごされているか、家族はどのように関わっておられるかなど、診療所を受診するだけでは知り得なかった「患者さんの生活」まで深く関わる事となります。そこで初めて健康上の問題点やその糸口などが分かることがあります。医学的な問題だけでなく社会的・心理的な問題などにも取り組める点で、私は非常にやりがいを感じています。



また、在宅診療で私が魅力とやりがいを感じる点に、在宅看取りがあります。在宅看取りとは、住み慣れた我が家で家族に見守られながら、最期の時を迎えたい、または迎えさせてあげたいという希望に対して、医療者がサポートするものです。

私が始めて在宅看取りを体験したのは大学 5 回生の時でした。肺炎で食事がとれなくなり入院したものの、一度体力が落ちてしまったため食事が取れるようにはなりません。点滴で栄養を入れていましたが、本人が帰宅したいと希望されたため、点滴を抜いて帰宅。その後は口を湿らす程度で過ごされ、2 週間で御家族や近所の方に沢山見守られながら、眠るように旅立たれました。104 歳という大往生であり、残された人たちが涙ぐみながらも笑顔で見送られていたのが、非常に印象的でした。

在宅医療がどのようなものか少しは理解して頂けたでしょうか。希望や質問があれば、何でも相談してください。少しでも皆様の生活が充実した素敵なものになるよう、頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。





外傷から体を守る “レスキュー隊” 血液

看護師 宮井由里子

血液は私たちの命を支える魔法の液体。酸素や栄養を全身に運び、体温を一定に保ち、老廃物の除去や感染防御の役割も担います。

けがをして血液が大量に流れ出したり、傷口からウイルスなどがどんどん侵入してきては、生命を維持できません。止血の主役は血小板。血管が断裂すると、血管内皮に集まって傷口をふさぐ。これが「1次止血栓」といいます。活性化した血小板からは血液を凝固させる因子が放出され血小板や赤血球、壊死した細胞などを巻き込んで「2次止血栓」をつくり、止血が完了します。

傷口から侵入する異物に対しては、白血球が立ち向かいます。傷口が腫れたり、熱をもったりすることを炎症反応と呼びますが、いずれも白血球と異物が闘っているサインです。「膿」は、好中球が仕事を終えて、体外に排出された姿です。

血液の中にある様々な物質が結集したりシグナルを出し合ったりして役割分担しながら傷を治していく究極の“レスキュー隊”といえます。



～お知らせ～

医師の不在・お盆休みのお知らせ

【医師の不在】

- ・ 8月10日(金) 永嶋医師
- ・ 8月13日(月)～22日(水) 大竹医師
- ・ 8月31日(金) 堤 医師
- ・ 9月6日(木) 児玉医師
- ・ 9月15日(土) 中村医師

上記の日程、都合により各医師が不在となります。

【お盆休み】

- ・ 8月14日(火)～16日(木)



順番予約について

インターネット、スマートフォンで当日分の順番予約をお取りいただけるようになりました。

右下のQRコードを読み取ると、アイチケットのサイト(予約ができるサイト)が表示されます。

そこから受付をしていただくと、順番の予約をすることができます。ぜひご活用して下さい。

詳しくは、院内パンフレットを参照してください。

時間予約ではないので注意してください。

